

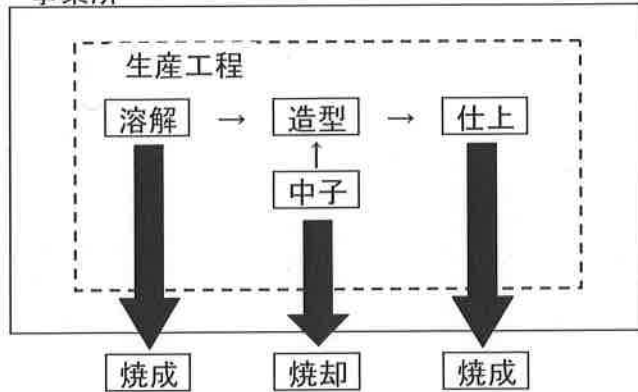
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 18 日	
大分県知事 佐藤 樹一郎 殿	
<div>提出者</div> <div>住 所 大分県宇佐市院内町香下1703</div> <div>氏 名 株式会社キリウ大分</div> <div>取締役社長 関川 俊彦</div> <div>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</div> <div>電話番号 0978-42-6222</div>	
<div></div> <div>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</div>	
事業場の名称	株式会社キリウ大分
事業場の所在地	大分県宇佐市院内町香下1703
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	輸送用機械器具製造業
②事業の規模	2,160百万円
③従業員数	137名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>事業所</div> <div><div>生産工程</div><div>溶解 → 造型 → 仕上</div><div>↓ ↓ ↓</div><div>中子</div><div>↓</div><div>焼成 焼却 焼成</div></div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

事業所



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉍さい	
排出量	8,736 t	t

（これまでに実施した取組）

- ・セメント材料として再利用
- ・鋳物砂の骨材として再利用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉍さい	
排出量	6,458 t	t

（今後実施する予定の取組）

- ・形状、方案の改善による中子砂（鉍さい）の削減
- ・排出量（事計値）より5%削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

- ・別紙1のとおり

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

- ・別紙1のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・別紙1のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・別紙1のとおり		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・別紙1のとおり		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	
	全 処 理 委 託 量	8,736 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	8,736 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・別紙1のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	全 処 理 委 託 量	6,458 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	6,458 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・別紙1のとおり		
※事務処理欄			

別紙1

〈産業廃棄物の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉋さい	セメント材料として再利用 鋳物砂の骨材として再利用	現状取組みの継続。
汚泥	不良率削減、生産性向上により、歩留向上により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。
廃プラ	梱包資材、方法の見直しにより、総量を削減する。	現状取組みの継続。
木くず	梱包資材、方法の見直しにより、総量を削減する。	現状取組みの継続。
廃油	不良率削減、生産性向上により、歩留向上により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。

〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
鉋さい	再生、再資源化に応じた適性分別の実施。	現状取組みの継続。
汚泥	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	－
廃プラ	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	－
木くず	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	－
廃油	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	－

〈自ら行う産業廃棄物の中間処理〉 該当なし

〈自ら行う埋立海洋投入処分〉 該当なし

〈自ら行う産業廃棄物の再生利用〉 該当なし

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鉋さい	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
汚泥	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
廃プラ	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
木くず	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
廃油	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。